

RISO REPORT 2011



平成23年3月期

報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに平成23年3月期報告書をお届けします。

当連結会計年度において当社グループは、日本や欧州ではインクジェット事業が好調に推移しましたが、円高の影響を受け売上高は前期に比べ2.0%の減収となりました。利益面では、売上原価の低減や販売費及び一般管理費の削減により営業利益は増益となり、当期純利益は3期ぶりに黒字となりました。

東日本大震災による当期の業績への影響は軽微でした。製品用の部材や原料の一部においては入手が困難になったものもありますが、当社グループは、今後もあらゆる対策を講じて製品の安定生産とお客様への継続供給を確実なものにしてまいります。

また、当社は平成15年からオリンパス株式会社と共同でインクジェットプリンターの開発に取り組んでまいりましたが、本年3月31日をもってこの合弁契約を終了しました。今後当該事業は当社が独自で運営し、インクジェット事業のさらなる拡大を目指します。

当期の配当金につきましては前期より20円増配し、1株当たり50円とさせていただきます。今後とも株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成23年6月

代表取締役社長
羽山 明

第四次中期経営計画 Riso Vision 13

(平成22年4月1日～平成25年3月31日)

新規顧客の獲得による健全な成長を、経営資源の効果的な活用のもとに実現し、安定した利益体質を再構築する

数値目標

- 連結売上高：830億円
- 連結営業利益：25億円

重点項目

1. インクジェット事業における販路の開拓と育成・強化
2. グローバルな商品企画体制・販売企画体制の構築
3. 生産体制・販管費構造のダイナミックな見直し

平成24年3月期経営方針

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

震災等による不安定要因を克服するとともに、販売活動の活性化を図り利益体質を強化する

重点項目

1. サプライ・ハードの安定生産と継続供給
2. インクジェット事業の単独事業体制の確立
3. 海外販路の設定と育成・強化
4. 国内新規市場の獲得と既存販路との関係強化

新規顧客の獲得による健全な成長を目指し、 安定した利益体質を構築する

2年目を迎えた第四次中期経営計画「Riso Vision 13」。初年度の実績や今年度の目標などについて社長の羽山明がご説明いたします。



代表取締役社長 羽山明

震災による業績への影響は軽微

このたびの東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

当社においても生産拠点や営業拠点の一部が被災しましたが、お客様への製品・サービスの供給体制はいち早く復旧させることができました。また、災害救助法適用地域で被災した当社製品については交換部品代を無償にするなどできる限りの対応をさせていただきました。

震災による当社業績への影響は軽微でした。今後もサプライチェーンの寸断や電力不足による生産への影響が懸念されますが、代替品の調達などあらゆる対策を講じてお客様への安定した製品供給に努めてまいります。

当期純利益が3期ぶりに黒字

平成23年3月期の業績は、大幅な円高の影響（売上高で27億円のマイナス、営業利益で11億円のマイナス影響）を受け、売上高が前期に比べ2.0%減の768億円となったものの、営業利益は同164%増の44億円となりました。

営業利益の増加は、インクジェットプリンターの販売増加で原価低減が進み売上原価が低減したことと販売管理費が減少したことによるものです。オルフィス、リソグラフともに上位モデルの販売比率がアップしたことで売上総利益が増加したことも増益の要因です。販売管理費は前期に比べ25億円減少しました。これは、固定費及び広告宣伝費の削減、研究開発費の抑制のほか、北米子会社で進めた事業構造改革が寄与しました。

また、オルテック株式会社を完全子会社化したことにより、段階取得に係る差益13億円を特別利益に計上しています。これらの結果、当期純利益は3期ぶりの黒字となりました。

インクジェット事業の構成比が31%に

製品別の状況では、インクジェット事業の売上が前期比10%の成長となり、連結売上高に占める割合も同3ポイント増の31%となりました。為替の影響を除いて試算すると15%の成長となります。

国内で「オルフィス Xシリーズ」、海外で「ComColor (コムカラー)シリーズ」のブランド名で販売している当社のインクジェットプリンターは、「大量のカラードキュメントを短時間・低コストで出力できる」という特長が国内外で幅広く支持されています。特に国内、欧州で売上を順調に伸ばすことができました。

米州では現在苦戦しているものの、北米市場におけるインクジェットプリンターの需要は増加が見込まれており、北米子会社の事業構造改革も進めています。今後も販路開拓と販売店の育成に取り組んでまいります。

このような中、インクジェット事業において一層の効率

的な事業展開を図るため、本年3月31日付でインクジェットに関する事業を合併先のオリンパスグループから譲り受けるとともに、合併会社「オルテック株式会社」の全株式を取得しました。（※詳細は5ページをご参照ください）

孔版事業の収益力強化

一方、孔版事業は、世界的な景気低迷が影響を与えていることもあり、日本や北米、欧州などの先進国では売上の減少が続いています。しかし、ロシア、アフリカ、中近東、インド、中国、東南アジア諸国などの新興国では、学校や行政機関などを中心に依然として根強い需要があります。日本では昨年発売したA3判両面同時印刷が可能な高付加価値機種種の拡販に努めており、このような上位モデルの販売比率も増加しています。マーケット開拓の余地はまだ十分にあると考えています。

開発技術力の強化と 高品質生産体制の確立を

第四次中期経営計画の2年目となる平成24年3月期は、引き続き新規顧客の獲得による健全な成長を目指し、経営資源をより効果的に活用して安定した利益体質を構築してまいります。具体的な数値目標は、連結売上高777億円、連結営業利益25億円です。営業利益については、インクジェット事業を単独運営していくことにより売上原価を低下させることができますが、一方でのれんや知的財産権の償却費の計上、開発費用負担増などにより販売管理費が増加することから減益になるとみて

います。

今期は、①サプライ・ハードの安定生産と継続供給 ②インクジェット事業の単独事業体制の確立 ③海外販路の設定と育成・強化 ④国内新規市場の獲得と既存販路との関係強化 の4つの重点項目を掲げて運営してまいります。

インクジェット事業については、今期より当社の単独事業となりましたので、開発技術力を強化するとともに高品質の製品を生産できる体制を確立していきます。

販売拡大が急務となっている海外市場では、インクジェット事業の販路開拓を加速し、販売店の育成に取り組めます。孔版事業では地域ニーズを見極めた製品・サービスの提供を行い、利益確保に努めます。

国内市場においては、さまざまな業種に特化した新たな用途提案を行うと同時に、総合展示会への出展や幅広い広告宣伝活動を通じて認知度の向上を図り、新たな需要を開拓していきます。

当期の配当金を増配

株主の皆様に対する利益還元につきましては、企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としています。この基本方針に基づき、当社は期末配当による年1回の剰余金の配当を行い、安定配当の継続に努力しております。また、自己株式の取得も利益還元の一つと考えており、株価水準や市場の動向を考慮しながら実施する方針としています。当期は5億円の自己株式取得と94万株の消却を行いました。

当期の期末配当金につきましては、利益が計画を上回ったため前期から20円増配し、1株につき50円とさ

せていただきました。

株主の皆様には、今後とも温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

合併契約終了に伴い合併会社を子会社に。 インクジェット事業は今後独自で運営。

当社は、平成23年3月31日をもってオリンパス株式会社との合併契約を終了し、オリンパス株式会社及び同社の連結子会社である株式会社岡谷オリンパスの事業の一部を譲り受けるとともに、合併会社オルテック株式会社の全株式を含め総額38億1千8百万円で取得しました。

当社とオリンパス株式会社は、平成15年9月に両社の合併会社であるオルテック株式会社を設立しインクジェット方式によるプリンターの共同開発を行ってまいりましたが、より一層の効率的な事業展開を図るため両社合意のうえで合併契約終了に至りました。

当社は、インクジェット事業を今期より単独で運営し、さらなる強化を推し進めます。

事業の一部譲受けと株式取得の対価

総額	38億1千8百万円
内訳	本事業譲受け価額 17億8百万円 本株式取得価額 21億1千万円

RISO TOPICS

毎分180枚の高速プリントができる「RISOGRAPH SDシリーズ」発売

当社は、デジタル印刷機「RISOGRAPH SDシリーズ」(5機種)の販売を平成22年10月より開始しました。

同シリーズは、全機種に高速プリントモードを搭載。毎分最高180枚のスピードで会議資料や教材、チラシなど大量の印刷物を短時間で仕上げることができます。上位モデルの『RISOGRAPH SD6680F』と『RISOGRAPH SD6680』は600dpiの高解像度で、密度の高い和紙を使用した高画質マスターの組み合わせにより、細かな文字や滑らかな階調表現が可能です。

また、同シリーズはUSBメモリからのダイレクト出力に対応。ネットワークが構築されていない環境やパソコンと直接

接続できない場所にリングラフがある場合でも、シャープな画像を再現することができます。



印刷クオリティを追求したハイグレードモデル
『RISOGRAPH SD6680F』

工程を大幅に短縮できるデジタルスクリーン製版機『GOCCOPRO 100』発表



プリンター感覚の簡単スクリーン製版機
『GOCCOPRO 100』

当社は、スクリーン印刷用マスターに原稿データを簡単に製版できる『GOCCOPRO 100』(ゴッコプロ 100)を本年1月に発表し、4月から販売を開始しました。

『GOCCOPRO 100』は、パソコンで作成した

原稿データを、本体に格納したロール状マスターに製版するコンパクトなデジタルスクリーン製版機です。一般的な乳剤版の製版とは違い薬品や水を使わない完全ドライ方式で製版ができ、本体から出力されたマスターを枠張りすればすぐにスクリーン印刷用の版が完成します。

販売開始に先がけ当社は、「世田谷ものづくり学校」で開催したスクリーン印刷ワークショップへの製品提供や、パーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市「東京インターナショナル・ギフト・ショー」への出展など積極的に展開しました。

東日本大震災への義援金寄付を実施

このたびの東日本大震災により、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。当社は、この震災による被災者の救援や被災地の復興に役立てていただくため、被災地の県

災害対策本部に対し総額500万円の義援金を寄付させていただきました。被災地の皆様のご無事と一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

経営の実績—当期の概況

当社グループは、印刷機器事業における新規顧客の獲得による収益力の改善を推し進めるため、当期の重点項目として「インクジェット事業における販路の開拓と育成・強化」「市場に適合する商品開発のための社内体制整備」の2項目を掲げて運営してまいりました。「インクジェット事業における販路の開拓と育成・強化」につきましては、海外においては新規需要を開拓するための販路構築に注力し、日本では販売情報の共有化などにより販路の育成と関係強化に努め、順調に販売を伸ばすことができました。「市場に適合する商品開発のための社内体制整備」につきましては、海外マーケティング部門を新設し、開発部門と連携して海外の市場ニーズを商品企画に反映できる体制を整備しました。

印刷機器事業のうちインクジェット事業については、日本及び欧州における販売が好調に推移し売上が伸長しました。孔版事業については、新興国での販売が増加したものの先進国で販売が減少したため全体では売上が減少しました。これらの結果、当期の売上高は768億9千7百万円(前期比2.0%減)となりました。利益面では、インクジェット事業における高付加価値商品の販売比率の増加や原価低減により売上総利益が増加しました。営業利益は北米子会社の事業構造改革により販売費及び一般管理費を削減した効果もあり44億6百万円(同164.0%増)となり、経常利益は49億3千9百万円(同133.7%増)となりました。また、当社の持分法適用関連会社であるオ

ルテック株式会社を連結子会社化したことに伴い特別利益(段階取得に係る差益)12億9千3百万円を計上したことにより、当期純利益は62億8千8百万円(前期は59億3千7百万円の当期純損失)となりました。

次期の見通し

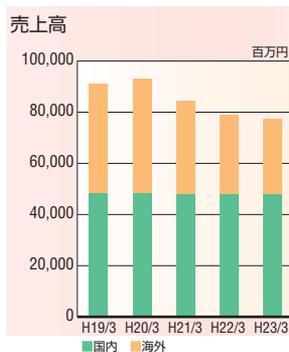
東日本大震災の影響により部材、原料の一部において入手が困難なものもありますが、当社グループでは、代替品の調達等あらゆる対策を講じ、製品の安定生産と継続供給に努めてまいります。

インクジェット事業においては、オリンパス株式会社との合弁契約を終了したことにより、今後は当社独自で本体の開発・製造についても取り組んでまいります。販売面では新規販路の開拓・育成及び既存販路との関係強化を図り、拡販に注力してまいります。

これらの施策により次期の売上高は777億円を見込んでおります。利益面では、オルフィス本体の内製化による原価低減により売上総利益は増加する見込みですが、事業の譲受けに伴うのれん等の償却と開発費用が増加するため、営業利益は25億円、経常利益は25億1千万円、当期純利益は25億3千万円を見込んでおります。

なお、業績見通しにおける為替レートは、米ドル86円、ユーロ115円を前提としております。

業績ハイライト(連結)



		平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	(百万円)	90,863	92,621	83,774	78,469	76,897
国内	(百万円)	48,013	48,247	47,797	47,562	47,758
海外	(百万円)	42,849	44,373	35,976	30,907	29,138
営業利益・損失	(百万円)	5,379	5,397	△ 913	1,669	4,406
経常利益・損失	(百万円)	5,139	4,709	△ 695	2,113	4,939
当期純利益・損失	(百万円)	2,977	1,657	△ 641	△ 5,937	6,288
売上高営業利益率	(%)	5.9	5.8	△ 1.1	2.1	5.7
純資産	(百万円)	71,354	69,796	65,484	58,275	62,095

■ 貸借対照表

(資産の部) (単位:百万円)

科 目	前期	当期
	平成22年3月31日	平成23年3月31日
流動資産	49,571	49,263
現金及び預金	13,656	13,780
受取手形及び売掛金	14,221	13,881
有価証券	4,969	4,096
たな卸資産	13,271	12,933
その他	3,904	5,056
貸倒引当金	△ 451	△ 485
固定資産	38,863	40,591
有形固定資産	30,469	28,442
建物及び構築物	6,754	6,369
機械装置及び運搬具	1,169	937
土地	17,139	17,139
その他	5,406	3,995
無形固定資産	2,296	7,315
のれん	—	2,633
ソフトウェア	1,749	1,552
その他	547	3,129
投資その他の資産	6,097	4,833
投資有価証券	1,767	1,572
その他	4,493	3,388
貸倒引当金	△ 163	△ 126
資産合計	88,434	89,854

(注) 当期の有形固定資産の減価償却累計額 41,297 百万円

POINT 1

無形固定資産

オリンパス株式会社及び株式会社岡谷オリンパスからの事業譲渡により取得したのれんと知的財産権(特許権)を計上しました。

(負債の部) (単位:百万円)

科 目	前期	当期
	平成22年3月31日	平成23年3月31日
流動負債	25,005	22,267
支払手形及び買掛金	13,055	12,366
短期借入金	4,832	2,160
一年内返済予定の長期借入金	5	3
その他	7,111	7,736
固定負債	5,153	5,492
長期借入金	68	53
退職給付引当金	3,524	3,597
その他	1,560	1,841
負債合計	30,159	27,759

(純資産の部) (単位:百万円)

科 目	前期	当期
	平成22年3月31日	平成23年3月31日
株主資本	59,616	64,633
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	32,108	36,249
自己株式	△ 1,386	△ 511
その他の包括利益累計額	△ 1,340	△ 2,538
その他有価証券評価差額金	263	△ 21
為替換算調整勘定	△ 1,604	△ 2,516
純資産合計	58,275	62,095
負債純資産合計	88,434	89,854

POINT 2

自己株式

自己株式94万株の消却を実施しました。また、当期は45万7千9百株(4億9千9百万円)の自己株式を取得しました。

■ 損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
売上高	78,469	76,897
売上原価	40,053	38,273
売上総利益	38,416	38,624
販売費及び一般管理費	36,746	34,217
営業利益	1,669	4,406
営業外収益	1,073	951
営業外費用	629	418
経常利益	2,113	4,939
特別利益	311	1,328
特別損失	6,384	194
税金等調整前当期純利益・損失	△ 3,960	6,073
法人税等	1,976	△ 214
当期純利益・損失	△ 5,937	6,288

POINT 3

売上高・営業利益

前期比15億7千2百万円の減収となりましたが、原価低減や販売管理費の減少により営業利益は27億3千7百万円増加しました。

POINT 4

特別利益

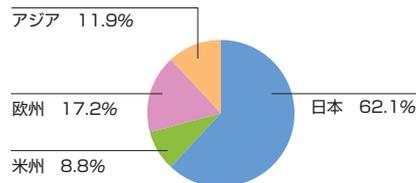
オリンパス株式会社との合併事業終了に伴い、合併会社オルテック株式会社の株式を買い取り当社の完全子会社にしました。その結果、段階取得に係る差益12億9千3百万円を特別利益に計上しました。

■ キャッシュ・フロー計算書

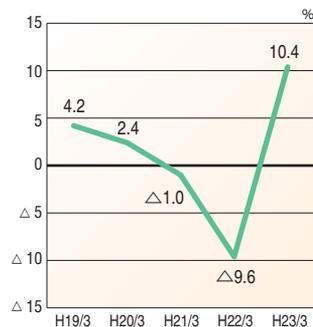
(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,969	6,362
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,898	△ 3,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,250	△ 3,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 217	△ 512
現金及び現金同等物の増減額	△ 5,336	△ 780
現金及び現金同等物の期首残高	23,246	17,910
現金及び現金同等物の期末残高	17,910	17,130

地域別売上高比率



自己資本当期純利益率

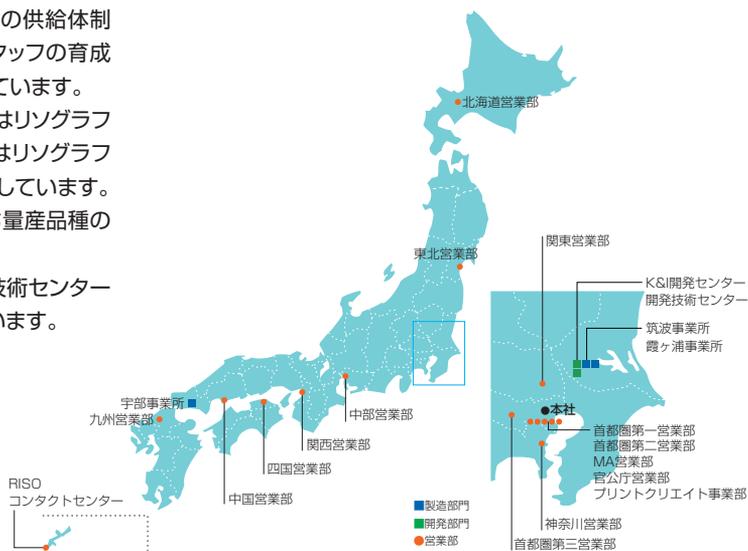


国内

当社の販売ネットワークは14営業部47支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。営業・技術スタッフの育成は、リソー教育センターを中心に全国で行われています。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場はリソグラフィのハードウェアを生産しています。霞ヶ浦工場はリソグラフィのインク・マスターとオルフィスのインクを生産しています。宇部工場はリソグラフィのインク・マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門はK&I開発センターと開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。



本社



K&I 開発センター



開発技術センター



RISO コンタクトセンター



霞ヶ浦事業所



筑波事業所



宇部事業所

海外

当社は19の海外子会社を中心に、オルフィス、リソグラフなどの販売や、技術サポートや消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の珠海工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人たちとのコミュニケーションを大切にし、多くのお客様をサポートしています。



●海外の主な子会社

RISO, INC.
 RISO CANADA, INC.
 RISO LATIN AMERICA, INC.
 RISO de Mexico, S.A. de C.V.
 RISO (U.K.) LTD.
 RISO (Deutschland) GmbH
 RISO FRANCE S.A.
 RISO IBERICA, S.A.
 RISOGRAPH ITALIA, S.p.A.
 RISO EURASIA LLC
 RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
 RISO AFRICA (PTY) LTD.
 理想工業 (香港) 有限公司
 珠海理想科学工業有限公司
 理想 (上海) 國際貿易有限公司
 RISO HONG KONG LTD.
 RISO (Thailand) LTD.
 RISO INDIA PRIVATE LTD.
 RISO KOREA LTD.



RISO, INC.
(アメリカ・ボストン)



RISO (Deutschland) GmbH
(ドイツ・ハンブルグ)



RISO (Thailand) LTD.
(タイ・バンコク)



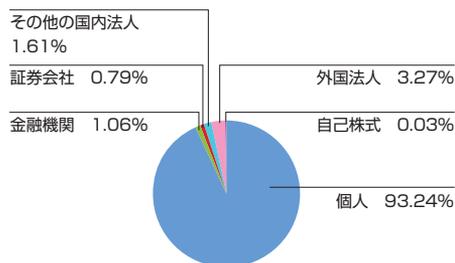
RISO FRANCE S.A.
(フランス・リヨン)



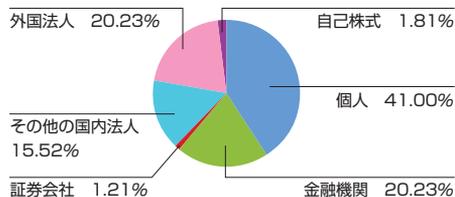
珠海理想科学工業有限公司
珠海工場 (中国・広東省)

■ 発行可能株式総数	67,840,000株 (前期末比 増減なし)
■ 発行済株式の総数	25,703,166株 (前期末比 940,000株減少)
■ 株主数	3,300名 (前期末比283名減少)

■ 株主数比率



■ 株式数比率



■ 大株主一覧(上位10人)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社理想社	2,470	9.61
財団法人理想教育財団	1,330	5.18
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)	1,309	5.09
サブアカウントアメリカンクライアント		
羽山 昇	1,155	4.50
羽山 明	1,040	4.05
理想科学工業従業員持株会	976	3.80
日本トラスティ・サービス	894	3.48
信託銀行株式会社(信託口)		
羽山 治	840	3.27
羽山 尚	840	3.27
伊藤 眞理子	840	3.27

(注) シルチェスター・パートナーズ・リミテッド(旧名称:シルチェスター インターナショナル インベスターズ リミテッド)及びその共同保有者であるシルチェスター・インターナショナル・インベスターズ・エルエルビーから平成22年11月8日付で大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付を受けましたが、当社として当期末日現在における実質所有株式数の確認ができないため上記大株主一覧には含めておりません。
なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりです。

株主名	持株数(千株)
シルチェスター・パートナーズ・リミテッド	0
シルチェスター・インターナショナル・インベスターズ・エルエルビー	3,067

■ 自己株式の取得・消却について

当期中に取得・消却した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数	457,900株
取得価格	499百万円
消却した株式数	940,000株 (消却前発行済株式の総数に対する割合 3.52%)
消却実施日	平成22年8月16日

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒108-8385
東京都港区芝五丁目34番7号
- 創業 昭和21年(1946年)9月2日
- 会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
- 資本金 14,114,985,384円
(平成23年3月31日現在)
- 従業員数 1,718名(グループ全体 3,101名)
(平成23年3月31日現在)
- 連結子会社 26社(国内5社 海外21社)
(平成23年3月31日現在)
- 役員

代表取締役社長	羽山 明
常務取締役	高橋 靖宏
常務取締役	国谷多可史
取締役	遠藤喜八郎
取締役	阿部 和男
取締役	藤岡 秀則
取締役	高橋 康信
取締役	上田 雅弘
取締役	橋本総一郎
常勤監査役	山本 邦明
常勤監査役	山本研十郎
監査役	飯塚 良成*
監査役	八田 進二*

(平成23年6月24日現在)

(注) * 印は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

理想科学に関する様々な情報は ホームページでご覧になれます。

当社ホームページは、製品・サービスや採用のほか、会社情報や環境への取り組みなど多くの情報を発信しています。財務・IR情報コーナーの「株主・投資家の皆様へ」では、関連するニュースやデータをはじめ、決算短信や有価証券報告書、内部統制、コーポレートガバナンス、株式手続きなど様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

■ ホームページ
<http://www.riso.co.jp/>



■ 株主・投資家の皆様へ
<http://www.riso.co.jp/home/kabu/>

◆ 今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社 の全国各支店ならびに日本証券代行株 式会社の本店及び全国各支店で行って おります。
公告掲載URL	http://www.riso.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

■ 株主インフォメーション

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため当社が開設した特別口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.riso.co.jp/>

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル

証券コード 6413



本報告書は、環境にやさしい大豆インキと、
FSC認証紙™を使用しております。